

平成20年3月期中間決算発表 補足資料

平成19年10月29日
日本ガイシ株式会社

	19年3月期中間					20年3月期中間					前年 同期比	19年3月期			20年3月期		
	実績		構成比		実績		構成比		%	前期比		%	見通し		%	前期比	
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%									
売上高合計	1,434	100	1,730	100	1,737	100	121	3,201	100	113	3,620	3,620	100	113			
<海外売上高合計>	<705>				<935>			<1,462>				<1,790>					
単独売上高計 (うち輸出計)	978 (381)	100		100	1,094 (498)	100	112 131	2,228 (762)	100	108 132		2,160 (950)	100	97 125			
グループ会社 NET売上高計	456				643		141	973		125		1,460		150			
電力関連事業	329	23	365	379	22	115	752	23	111	800	810	22	108				
単独売上高 (うち輸出)	236 (92)	24		283 (109)	26	120 118	560 (186)	25	110 105		625 (220)	29	112 118				
グループ会社 NET売上高	93			97		104	192		113		185		97				
営業利益 (%)	24	(7.4%)	35	40	(10.6%)	166	64	(8.5%)	3.3倍	75	75	(9.3%)	117				
セラミックス事業	628	44	840	840	48	134	1,265	40	132	1,610	1,625	45	128				
単独売上高 (うち輸出)	412 (177)	42		552 (284)	50	134 161	802 (364)	36	130 161		1,040 (530)	48	130 146				
グループ会社 NET売上高	216			287		133	463		136		585		126				
営業利益 (%)	149	(23.7%)	220	236	(28.2%)	159	310	(24.5%)	175	400	435	(26.8%)	140				
エレクトロニクス事業	378	26	410	415	24	110	744	23	109	780	785	22	106				
単独売上高 (うち輸出)	240 (112)	25		244 (105)	22	101 94	456 (212)	20	102 121		465 (200)	22	102 94				
グループ会社 NET売上高	138			171		124	288		121		320		111				
営業利益 (%)	69	(18.2%)	85	81	(19.5%)	117	131	(17.6%)	129	150	135	(17.2%)	103				
エンジニアリング事業	105	7	115	118	7	112	453	14	86	430	430	12	95				
単独売上高 (うち輸出)	90 (0)	9		16 (0)	1	18 -	409 (0)	18	84 -		30 (0)	1	7 -				
グループ会社 NET売上高	15			102		679	44		111		400		916				
営業利益 (%)	-22	(-21.1%)	-20	-9	(-7.4%)	-	15	(3.2%)	100	25	25	(5.8%)	172				
セグメント間売上消去	-6			-15			-13				-30						
為替レート(円/\$)	116			120			116				118						
為替レート(円/ER)	143			160			147				161						
営業利益	220	15.3	320	349	20.2	159	520	16.3	166	650	670	18.5	129				
単独営業利益	121	12.4		202	18.4	167	306	13.7	158		345	16.0	113				
経常利益	210	14.6	320	353	20.3	168	503	15.7	163	650	670	18.5	133				
単独経常利益	142	14.5		213	19.5	150	353	15.8	161		370	17.1	105				
当期純利益	120	8.4	245	258	14.8	215	294	9.2	178	440	445	12.3	151				
単独当期純利益	86	8.8		185	16.9	216	228	10.2	149		280	13.0	123				
研究開発費	54	3.8		57	3.3	106	122	3.8	108		130	3.6	107				
単独研究開発費	46	4.7		45	4.1		106	4.7			105	4.9					
設備投資(工事ベース)	151	10.5		107	6.2	71	260	8.1	63		270	7.5	104				
単独設備投資	56			44			110				110						
減価償却費	110	7.7		127	7.3	115	239	7.5	126		265	7.3	111				
単独減価償却費	53			53			113				110						

平成20年3月期中間 連結業績の要点

- ① 概況 前年同期比増収増益（中間期レベルで過去最高益を大幅更新）
SiC-DPFを始めとするディーゼル関連製品の需要増加によるセラミックス事業の大幅増収に加え、電力関連、エレクトロニクス事業も堅調に推移し、前年同期比増収。利益も、増収効果や生産性の改善、円安の影響などにより大幅増益。
- ② 為替影響
連結：売上 54 億円、営業利益 22 億円（前中間期 116 円→当中間期 120 円/\$、143→160 円/ER）
単独：売上 23 億円、営業利益 17 億円（115→120 円/\$、144→161 円/ER）
- ③ 事業別業績概況
電力関連：前年同期比 50 億円の増収（円安影響 5 億円）。国内市場は塩雪害対策用がいしへの需要が増加、海外市場は中近東、中国向けがいしへの需要が増加し、前年同期比増収。利益も、売上増が寄与し 16 億円の増益（円安影響 2 億円）。
セラミックス：前年同期比 212 億円の大幅増収（円安影響 41 億円）。排ガス規制強化の流れを受けて SiC-DPF を中心にディーゼル関連製品の需要が大幅増加。自動車排ガス浄化用触媒担体、産業用機器、燃焼装置も前年同期を上回る。利益は、増収、生産性の改善に加え円安もあり 87 億円の大幅増益（円安影響 16 億円）。
エレクトロニクス：前年同期比 37 億円の増収（円安影響 9 億円）。ベリリウム銅展伸材は、携帯電話・自動車向け需要が日本・アジア市場を中心に堅調に推移し、前年同期比微増。半導体製造装置用セラミックスは、受注残に支えられ増収。プリンター用機能部品は、客先の販売方針の変更により物量が増加し前年同期比増収。双信電機は実装製品等の売上減により前年同期比減収。利益は売上増加や生産性向上などにより 12 億円の増益（円安影響 4 億円）。
エンジニアリング：前年同期比 13 億円の増収。主力の環境装置は、下期集中の度合いが例年よりも低く、当中間期は前年同期比増収。低レベル放射性廃棄物処理関連も前年同期比微増。利益は、売上増や費用圧縮に伴い 13 億円の赤字減少。
- ④ 特別利益 関係会社株式売却益 100.5 億円計上
- ⑤ 連結範囲
連結子会社数 前中間期 54 社→当中間期 55 社、持分法適用会社数 2 社（前年同期と同じ）

平成20年3月期 連結業績見通しの要点

- ① 概況 エンジニアリング部門が減収となるも、SiC-DPF を始めとするディーゼル関連製品の需要増や NAS 電池の需要増により4期連続の増収（過去最高を更新）。営業利益・経常利益は5期連続、当期純利益は4期連続の二桁増益を目指す（各利益共3期連続の過去最高を更新）。
- ② 事業別業績見直し
電力関連：前期比増収。がいしは、海外市場で北米・中国・中近東向け需要が堅調で前期比増収。NAS 電池は風力発電向けの需要増により大幅増収。利益は、NAS 電池の黒字化などにより前期比増益となる見込み。
セラミックス：前期比大幅増収。SiC-DPF を始めとするディーゼル関連製品が需要拡大により大幅増収。自動車排ガス浄化用触媒担体は、日欧自動車会社向け出荷増により前期比増収の見込み。産業用機器は微増収、燃焼装置は、PDP 用熱処理炉の需要増により前期比増収の見込み。利益は、ディーゼル関連製品の物量増効果や生産性向上により、前期比増益を見込む。
エレクトロニクス：前期比増収。ベリリウム銅展伸材は、携帯電話、自動車向けが堅調で、前期を上回る。半導体製造装置用セラミックスは、下期に半導体製造装置メーカーの受注低迷により需要減を見込むも、上期の高水準な出荷に支えられ通期では増収。プリンター用機能部品は、客先販売方針変更による物量増や次世代製品の投入により前期比増収。双信電機は、実装製品減少も LTCC 製品や EMIフィルタの増加を見込み前期比微増収。利益は、売上増、生産性向上などにより増益となる見込み。
エンジニアリング：前期比減収。公共投資抑制が継続する中、競争激化により下水処理分野が落ち込み前期比減収。利益は、分社化による効率的運営、コストダウンにより前期比増益となる見込み。
- ③ 為替影響 売上+54 億円、営業利益+16 億円
下期為替前提 114 円/\$、162 円/ER
（前期 116→当期 118 円/\$、147→161 円/ER）
（単独：売上+12 億円、営業利益+11 億円 117→116 円/\$、148→161 円/ER）
- ④ ROE 14.8%（前期比+4.0%）
- ⑤ 配当見込み：中間 11 円、期末 11 円、年間 22 円
- 前期比 6 円増配（前期：中間 7 円、期末 9 円、年間 16 円）
- 前回予想比 4 円増配（前回予想：中間 9 円、期末 9 円、年間 18 円）
- ⑥ 連結範囲 連結子会社数 前期 54 社→当期 56 社、持分法適用会社数 同 2 社（前期と同じ）